

平成30年9月3日(月)

県政 F ネット

連絡先

三重県医療保健部 薬務感染症対策課
 感染症対策班 担当：金谷・小掠
 電話：059-224-2352

感染症の予防のための
 情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157)				
年齢及び性別	73才・男性	職業	アルバイト		
住所	いなべ市				
発病年月日	平成30年 8月 22日				
診断年月日	平成30年 9月 3日				
(患者発生の経過)					
8月23日 微熱(37.5℃)、腹痛、水様性血便(10回/日)の症状がみられたため、いなべ市内の病院を受診し入院となった。					
8月24日から9月2日 症状はあるものの、徐々に軽減がみられた。					
9月 3日 8月28日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。 患者は入院中ですが快方に向かっています。					
【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施(桑名保健所)					
【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)					
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
患者	39	27	29	29	18
保菌者	19	10	15	13	11
計(感染者)	58	37	44	42	29
※平成30年1月1日～平成30年9月3日現在まで本件含む 平成30年内 患者：O157(13人) O26(2人) O111(1人) O121(1人) O165(1人) 保菌者：O157(9人) O121(2人)					
【自分でできる対策】					
1 予防の3原則					
① 加熱(菌を殺す) この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。					
② 迅速・冷却(菌を増やさない) 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。					
③ 清潔(菌をつけない) 手指や調理器具は十分に洗いましょう。					
2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。					
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。					